学校番号	3009

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『家庭基礎　つながる暮らし 共に創る未来　新訂版』（教育図書）						
副教材等	『家庭科５５デジタル＋』（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活における知識や技能、問題解決能力を身に付け、よりよい家庭生活を送る力を養います。
〇家庭生活に関心を持ち、自分の考えをまとめながら積極的に取組みましょう。授業中に発表してもらう機会も設定します。また、疑問点があれば、積極的に自ら調べましょう。
〇評価は、定期考査、提出物、授業態度などを総合的に判断します。
〇講義は教科書と担当教員が作成したプリントを中心に行います。プリントは原則毎授業終了後に点検します。返却時に指示やメッセージを記載しますので、毎回確認し、ファイルに綴じ、家庭でしっかり復習してください。
〇実習作品は、必ず期限内に提出してください。場合によって補習を行います。

2　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）人の一生と家族・家庭及び福祉、住、消費生活・食・衣生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
（２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
（３）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実・向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・食・衣生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を発見し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生活設計	・ 自分たちはライフステージにおける青年期にいることに気づく。 ・ 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ・ 私たちは生涯発達し続ける存在であることを理解する。 ・ これから起こるライフイベントを想定し、目標を立て、そのための意思決定について考える。	a: ・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解している。 ・これからの人生で起こりうるライフイベントについて理解している。 b: ・これからの自分の人生について想像し、まとめたり発表したりすることができる。 ・自らの目標を想定し、そのために必要なことやリスクについて考えている。 ・生活設計について、人の考えと比較して意見を言うことができる。 c: ・人生で起こりうるライフイベントについて自分の将来と照らし合わせながら主体的に考えようとしている。 ・生涯発達の視点でライフステージごとの発達課題に関心をもち、学習活動に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 プリント	学習状況 プリント
	青年期と家族	・青年期とはどのような時期なのかを知り、青年期に必要な自立について考える。 ・ 家庭生活を支える職業労働と家事労働の特徴を理解する。 ・ 日本の雇用環境を考え、将来を見通した職業観を身に付ける。 ・ 自分や他者の性を尊重することの大切さを理解する。 ・ 社会の変化に伴う家族・家庭の変化について理解する。 ・ 家族・家庭とは何かを、様々な観点から考えて自分なりの価値観を築く。 ・ 家庭生活を支える基本的な法律について理解する。	a: ・青年期の5つの自立について理解している。 ・現代の家族の特徴について、家族機能の変化や人々の意識の変化などから理解している。 ・生活に関わる法律の基本的な趣旨、家庭生活を支える社会制度について理解している。 b: ・生涯発達の視点から、青年期をどのように過ごすかについて、具体的に考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 ・自分自身のアイデンティティとなる内面について見つめ直し、まとめたり発表したりすることができる。 ・ワーク・ライフ・バランスの視点から、職業労働のあり方について考え、まとめたり、発表したりできる。	定期考査	定期考査 プリント	学習状況 プリント

		・ 男女共同参画社会について知り、実現のためにできることについて自分なりに考える。 ・18 歳で大人になるという自覚が持てるように、18 歳になるとできようになることを調べる。	c: ・家族・家庭と社会との関わりに関心をもち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。 ・さまざまな家族の形や性のあり方について、理解しようとしている。 ・「大人」になることの意義について、自分の考えを持って向き合おうとしている。			
	経済計画	・家計のしくみについて理解し、家計は社会と密接にかかわっていることを知る。 ・収入と支出のバランスについて理解する。 ・金融商品の特徴を理解し、将来の財産管理について考える。 ・生涯を見通した経済計画の重要性について理解する。	a: ・家計と経済社会の関わりを理解している。 ・家計における収入と支出について理解している。 ・現金とキャッシュレスのしくみの違いについて理解している。 ・金融商品とその特徴について理解している。 ・生涯を見通した経済計画の重要性について理解している。 b: ・家計管理について具体的な事例を通して、シミュレーションすることができる。 ・さまざまな金融商品のメリットとデメリットについて具体的に調べ、発表することができる。 c: ・収入と支出のバランスを考え、工夫して家計簿を作成する課題に取り組もうとしている。 ・生涯を見通した家計管理のあり方について考えようとしている。	定期考査	定期考査 プリント	学習状況 プリント

	消費生活	・消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し、自分の消費行動について客観的に考える。 ・生活情報を活用するために必要なリテラシーを身に付ける。 ・一人で契約する時の注意点や心構えについて理解する。 ・18 歳で「大人」になるという自覚をもち、大人と未成年の違いについて理解する。 ・様々な決済方法について知り、それぞれのメリット・デメリットや自分に合った利用方法について考える。 ・消費者トラブルと、消費者保護のしくみについて理解する。 ・消費者の権利と責任について理解する。 ・消費者市民社会の実現に向けて、自立した消費者としてどのように行動したらよいかを考える。	a: ・消費行動における意思決定の過程と要因について理解している。 ・三者間契約など、さまざまな契約のしくみや、未成年と成年の法律上の違いについて理解している。 ・消費者保護のしくみや、消費者問題の原因と被害に遭わないための対策について理解している。 ・消費者の責任について理解し、選挙でいうと投票行為に当たるものとして消費行動を捉えることができる。 ・消費者の権利と責任を理解し、資源・環境を考えた行動ができる。 ・契約や消費者信用などの諸問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断ができる。 b: ・1つの情報を鵜呑みにせず、情報を正しく活用する情報リテラシーについて考えている。 ・消費者問題について調べ、被害防止や救済について、具体的な事例を通して考え、まとめたり、発表したりすることができる。 c: ・消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し、自身の消費行動について具体的に考えようとしている。 ・自分の意思で契約できる「大人」としての権利と責任について、自分事として捉えようとしている。	定期考査	定期考査 プリント	学習状況 プリント

前期	衣生活	・ 人間の生活と衣服のかかわり、衣服の主な機能について理解し、生活に生かすことができる。 ・ 自分自身の衣生活の分析を通して、衣服や日常の衣生活に関心をもつことができるようになる。 ・ ライフステージの各場面に適した衣服、衣服計画の重要性について理解する。 ・ 衣服の素材(繊維、糸、布)の種類や特徴について理解する。 ・ 衣服素材の性能・着心地や構成について理解する。 ・ 購入、活用、手入れ、再利用や廃棄まで考えて、衣服計画を立てることができる。 ・ 衣服の表示について理解し、日常生活の中での活用について考える。 ・ 衣服の手入れ、管理の必要性やその方法について、科学的に理解する。 ・ 基本的な衣服製作の技術を身に付ける。 ・私たちの衣生活が環境に与える影響を考え、持続可能な衣生活について考える	a:・被服の機能や、衣服が健康に与える影響について理解している。 ・ライフステージや目的に応じた衣服について理解している。 ・被服の入手、洗濯、保管などの被服管理について理解し、管理できる技術を習得している。 ・布の縫い方など、基礎的な技術を身に付けている。 b:・衣生活に関する学習を通し、自身の着装について考え、まとめたり発表したりすることができる。 ・衣服の原料から廃棄までの流れを調べ、まとめることができる。 c: ・自身の衣生活の分析を通して、衣服に関心をもち、現代の衣生活に関心をもとうとしている。 ・衣服の機能や安全性、環境への配慮などの知識を生かして、自分の衣生活を改善しようとしている。 ・社会的慣習に適応しながらも自己実現する着装の工夫をし、着用の目的に応じて健康的な衣服選択と着装をしようとしている。 ・被服材料に応じた被服の整理や管理について考えようとしている。	定期考査 被服実習	定期考査 被服実習 ﾌﾟﾘﾝﾄ	被服実習 ﾌﾟﾘﾝﾄ 学習状況

後期	食生活	・食事と健康とのかかわりや、人の一生における食事の役割について理解する。 ・ 日常用いられる食品に含まれる栄養素の種類や機能、主な食品の特徴について理解する。 ・ 安全や健康の観点から、食品を適切に選択したり保存したりする方法について理解する。 ・ 食事摂取基準について理解し、各栄養素の必要量についてのイメージを身に付ける。 ・ 私たちの体にとっての水の大切さを理解する。 ・ 年齢、性別、宗教など様々な背景や考え、相手に配慮した献立について考えることができる。	a:・食と健康の関わりについて知り、食事の大切さを理解している。 ・各ライフステージの食生活の課題と改善策について理解している。 ・食品表示の意味を理解している。 ・栄養素の特徴と、それを多く含む食品について理解している。 ・日常用いられる食品の栄養素的特質、調理上の性質について科学的視点から理解している。 b:・自身の食生活を分析し、現代の食生活の傾向と課題を比較して、まとめたり発表したりできる。 ・食品の表示を理解し、購入時の判断材料とすることができる。 ・食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを活用し、献立を考え作成することができる。 ・自給率の低下や外食・中食への依存など現在の食生活の問題について深く考えている。 c:・栄養素や食品の知識を生かし、自分や家族の食生活を改善しようとしている。 ・自身や家族のほか、さまざまな年齢・ライフスタイルの人に必要な栄養素、適した献立について興味を持って調べている。	定期考査 プリント	定期考査 プリント	プリント 学習状況

	食生活	・ 調理の基本的な技術を身に付け、安全や衛生に配慮した調理ができるようになる。 ・ 料理の盛りつけや配膳、食事のマナーの基本を理解する。 ・ 具体的な問題点から、現代の食生活の問題や課題について考える。 ・ 日本の食文化を理解し、私たちが食生活の伝統を引き継ぎ、新しく創造する主体であることを認識する。	a: ・食中毒や食物アレルギーについて理解し、健康・安全を考えた調理をすることができる。 ・日常食の調理、栄養バランスのよい献立作成、食材の選択、調理、盛りつけ、マナー、配膳などについて総合的に理解している。 ・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。 ・資源、エネルギーに配慮した食品の購入、調理、保存ができる。 b: ・調理実習などを通して、食の安全や栄養素について、考えをまとめたり、発表したりすることができる。 ・調理の安全や衛生について具体的に考えている。 c: ・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実・向上を図っている。 ・食生活の多様化や食環境の変化について知り、食生活と環境について科学的に考えようとしている。	定期考査 プリント 調理実習	定期考査 プリント 調理実習	プリント 学習状況

	住生活	・ 人と住まいとのかかわりや、住まいの機能について理解する。 ・ 地震などの災害に備えたり、家庭内事故の要因を理解したりするなど、安全な住居についての基礎知識を身に付ける。 ・安全で快適な住生活のための対策を具体的に考え、工夫する。 ・家族のライフステージや状況に合わせた、適切な住まいについて理解する。 ・ 住居の平面図を読み取ることができるようになる。 ・ 私たちの暮らしが地域とつながっていることを知り、まちづくりに参加する重要性を理解する。 ・日本の住宅事情や課題を理解し、持続可能な住まい方の工夫について考える。	a: ・住宅の役割、住空間の計画、住環境の整備について科学的に理解している。 ・安全で快適で環境にも配慮した住生活を送るための知識を身に付け、理解している。 ・住人のライフステージごとの変化や住宅に求める事柄の変化について理解している。 ・平面図の読みとりができる。 b: ・各ライフステージに応じた住居について考え、まとめたり、発表したりできる。 ・安全性が高く、健康的に住むことができる住居について考えることができる。 c: ・住まいの役割について自身の生活を振り返りながら考えようとしている。 ・住居の安全性や防災の知識を生かして、安全な家庭生活を送ることができるような行動について考えようとしている。 ・住居の持続可能性について自分事として考えようとしている。	定期考査	定期考査 プリント	学習状況 プリント

	保育	・ 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を知り、子どもにとって良い環境について考えて自分なりの意見をもつ。 ・ 乳幼児期が人の一生において重要な時期であることを理解する。 ・ 親の役割や愛着の大切さ、生命の尊さ、子どもを生み育てることの意義を学ぶ。 ・ 子どもの生活習慣・食事・健康と安全の重要性を理解する。 ・ 子どもに対しての適切なかかわり方について工夫する。 ・ 現代の子どもを取り巻く環境の問題について理解する。 ・ 社会全体で子育てを支援し、子育ての環境整備を行うことの重要性を理解する。 ・ 子どもの権利や福祉について理解する。 ・ 自分たちがこれから子どもを育てる世代になることを実感する。 ・ 育児休業について、他国と比較して考えを深める。	a: ・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を理解している。 ・子どもの生活を理解している。 ・生命の尊さを認識するとともに、保育における親や大人の役割を理解している。 ・子どもは生活の中で人と関わることを通して成長することを理解している。 ・子どもを取り巻く環境整備と社会全体で子育てを支援する必要性を理解している。 ・子どもの権利と福祉について理解している。 b: ・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を捉え、子どもにとってよい環境を考え、意見をまとめ、発表することができる。 ・現代の子どもを取り巻く環境の変化や課題についてまとめ、発表することができる。 ・子どもの生活や遊びについて調査・観察したことをまとめたり発表したりすることができる。 ・子どもの発達に応じた遊び道具の制作をすることができる。 c: ・子どもに対するイメージを膨らませ、実践的・体験的な学習に取り組もうとしている。 ・自分が将来、保育に関わる存在であることを理解し、自分事として学習に取り組んでいる。	定期考査 保育実習	定期考査 プリント 保育実習	 プリント 保育実習 学習状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度